

信州の紅葉の時期と大きくづれていて関西12月はまるまる冬の月の信州に比べ12月はじめまで紅葉が見られる京都方面に紅葉を見に出かけました。

とはいえ、盛りを過ぎていたので心配でしたので、紅葉たよりを見ながら石山寺に最初に行くことにしました。

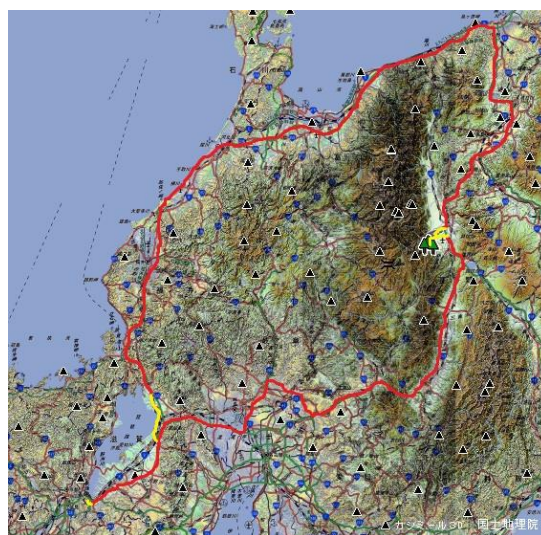
12月3日、清水高原を出て塩尻北ICで長野道に乗り、岡谷JCTから中央道、土岐JCTから東海環状、美濃関JCTから東海北陸、一宮JCTから名神自動車道を走り、瀬田東JCTから京滋バイパスの瀬田東ICでようやく高速道路を降り、下道を少し走って石山寺につきました、時刻は昼を過ぎて1時前でした。



石山寺では明日まで、本尊如意輪観世音菩薩の特別拝観が出来るという事で、初めて来寺しました。東大門をくぐり平坦な参道を通った後は石段の連続の山寺で、山の中腹にある本堂を目指しました。

33年に一度の御開扉は団体客で込み合っていたので、更に上に登って行きました。途中にはもみじの紅葉(散り始め)が見えて12月に紅葉が現実になって、ちょっと安心しました。頂上の豊浄殿で開催している「石山寺と紫式部」展を先に見学しました。記憶によれば石山寺は紫式部が源氏物語を書いた所?と、実際は1週間くらいの滞在本尊に物語の創作を祈願し、瀬田川(直ぐ横に流れている)に映る風情を眺めて筆(須磨・明石)を起こしたとの事。その後、ご本尊を拝観し石山寺を後にしました。

まだ、宿に入るには時間があるので、京都方面に足を延ばしドラ



イブ、回り道(分岐で失敗)をして枚方市・高槻市通り亀岡市でトロッコ列車の情報(相当前に予約が必要)を聞き、彦根まで戻りました。

4日は、彦根城を見に行きました。天守は小山に立っていて、結構門から天守入口までは登りがきつかった。国宝の城は5つ松本城公園は私の通学路、姫路城は41年前、犬山城は5年前彦根城は今回、2015年に国宝になった松江城はこの次の機会に行く事にしました。

出来るだけ琵琶湖の側の道を長く通り、木の本ICで北陸道に乗り福井・石川・富山・新潟・長野の北信越5県を通り清水高原に戻りました。

